

と、
いいづな
県飯綱町)の報告です。

立てます



一般財団法人地域活性化センター 令和元年9月18日



【研修内容】

○主な事業と会員数

情報提供・調査研究・研修や交流等まちづくりへの助成。地方公共団体など 1,929 団体。

○主な取り組み

社会福祉法人への実習生派遣。自席に縛られない働き方等のオフィス改革。

【考察】

オフィス改革は、全国自治体のモデルになるのではないか。



働き方改革の
モデルを学ぶ

公益財団法人大田区産業振興協会 令和元年9月19日



【主な研修内容】

○大田区の製造業を取り巻く状況

工場が激減する中でも高い技術力と加工の分業化で支え合い、ものづくりを続けてきた。

将来にわたり産業のまちとするため「大田区産業のまちづくり条例」を制定している。

【考察】

大田区から、これまで継続的に受注が行われている本町の事業所もあり、長年続けてきた大田区との交流継続の必要性を感じた。



日本経済を支えた大田区のものづくりへの誇りを学ぶ

《議会運営委員会》長野県飯綱町議会 令和元年10月29日



合併直後、第3セクターが破綻し金融機関から町が裁判を起こされ全面敗訴。議会も住民から厳しい批判を受けた。飯綱町議会は、これを「チャンス」ととらえ、町民に開かれた議会改革に取り組んできた。

【主な研修内容】

○政策サポーター制度（テーマを決め、公募し、議論を重ね、提言書をまとめる）
開かれた議会にするため町民の知恵も借りて政策づくりを進める。町長も提案を積極的に受け止め施策に生かすという基本姿勢がある。提案が具体化された例も多い。

○町民と議会との懇談会（地域別・テーマ別・各種団体など多様な形で開催）
平成20年からスタートして、平成30年まで合計32か所546人が参加した。

○議会だよりモニター（議会の応援団になってもらうことが目的）
女性や若者を中心に議員不在地域から人選し、のべ177人。毎回100項目以上の意見・要望・批判等が寄せられる。一部は議会報で回答している。

【考察】

町民と向き合い「議会の見える化」に取り組み、意見や要望を町政に反映する姿勢に感銘を受けた。今後の本町議会の活性化のために役立てたい。



菅原議会運営委員長

飯綱町議会
清水議長

議会改革の先進地から多くを学ぶ